

学 位 論 文 の 要 旨

三 重 大 学

所 属	三重大学大学院医学系研究科 看護学専攻（博士後期課程） 看護学領域 地域看護学分野	氏 名	バンダリ ヨグ マヤ BHANDARI Yog Maya
<p>主論文の題名</p> <p>Male irresponsibility to contraceptive use and land cover classification in Nepal</p> <p>主論文の要旨</p> <p>避妊の実行は、単に妊娠を防ぐのみならず、地域の妊産婦死亡や乳幼児死亡を減少させる効果があると報告されている。男性の避妊に対する無責任さと避妊の実行の間には関連が存在することが明らかにされている一方で、男性の避妊に対する無責任さに寄与する個人要因、社会文化要因、自然環境要因を明らかにした文献は少なく、特に自然環境の統合的指標である土地被覆分類との関連を調べた研究はない。そこで、本研究は、熱帯雨林のジャングル、田園地帯、極寒のヒマラヤ高地と自然環境の変域幅が極めて大きいネパールを対象地域として、男性の避妊に対する無責任さと土地被覆分類の関連を明らかにすることを目的とした。</p> <p>本研究は、異種類の情報源データを統合化した二次データ分析研究である。ネパール人口保健調査(2016)から、「避妊は女性の問題であり、男性は気に留める必要がない」に賛同する否か（賛同した男性を避妊に無責任な男性と定義する）、年齢、教育年数、家財指標を得た。全球土地被覆データセット(2013)と人口保健調査の調査位置情報から、オーバーレイ解析により調査地点の土地被覆（11分類）を得た。男性の個票データに土地被覆分類を追加連結させた後に、二項回帰モデルをあてはめ、年齢、教育年数、家財指標で調整した調整済み有病率比（以下、APR）を推定した。</p> <p>その結果、畑地の APR [95%信頼区間]は 0.63 [0.44-0.90]あり参照の都市部に比べて有意に無責任な男性が少なく、一方、落葉針葉林地は 1.84 [1.05-3.22]であり有意に無責任な男性が多かった。その他の土地被覆では、統計的に有意な APR が認められなかった。本研究により、男性の避妊に対する無責任さと土地被覆分類の間に関連性が存在することが示された。これは、自然環境は社会文化環境を規定し、社会文化環境は家族・個人の健康行動を規定する生態学的な健康の概念モデルを支持する結果となっている。本研究の結果から、ネパールで実施されている家族計画プログラムを見直す際に、自然環境（土地被覆分類）の違いを加味して、より地域に適合した計画立案の実行することが提案される。</p>			